

第2章 第2期健康増進計画の評価（第3期計画に引き継ぐべき課題）

1. 生活習慣病の発症予防と重症化予防

■ がん検診・精密検査受診率の低迷

胃がん検診の受診率は男性 45.9%・女性 46.5%と、現状値（H28）から大幅に改善し、目標達成に向けた前進が見られました。

一方、肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がんの受診率はいずれも現状値（H28）を下回って推移しており、目標「受診率が高くなる」を達成できず、継続的な対策が必要です。また、精密検査受診率についても大腸がん（女性 0.0%）などが低く、要精密検査者が確実に受診できる体制づくりが引き続き重要な課題となります。

■ 生活習慣病重症化予防の課題

脳血管疾患の SMR は男性 95.1 と目標（100 未満）を達成しましたが、心疾患の SMR は男性 119.9 と依然として 100 を上回っており、目標未達成のまま計画期間を終えました。第3期においても、生活習慣改善や重症化予防の取り組みを重点的に継続する必要があります。

SMR ～ 特定の集団（置戸町）の死亡率を基準の集団（全国）と比較するための指標です。
100 よりも大きければ、全国の死亡率よりも高いと判断されます。
本計画では「北海道における主要死因の概要 11」を使用。

■ 特定健診受診率の伸び悩み

特定健診受診率は 43.4%（暫定値）にとどまり、現状値（H28）の 44.5%を下回っています。中間評価（R1）の 41.4%からは回復傾向にあるものの、目標「受診率が高くなる」の達成には至っておらず、受診勧奨のさらなる強化が必要となります。

■ 腹囲・血糖・脂質有所見者の課題

特定健診有所見者*のうち、腹囲（女性 30.0%）・高血糖（2.3%）は現状値（H28）より悪化しており、生活習慣改善への支援強化が求められます。また、腎不全 SMR が男性 199.6 と高い水準にあること、糖尿病性腎症による新規人工透析者が定期的に発生しており、現在 6 名が通院中であるなど、重症化予防対策の強化が急務であることを示しています。

*有所見値 腹 囲：男性 85cm 以上 女性 90cm 以上

血糖値：空腹時血糖：100mg/dL 以上 HbA1c（NGSP 値）：5.6%以上

2. こころの健康と休養

■ 自殺者数 SMR の目標未達成（女性）

自殺者数 SMR は男性 82.9 と目標（100 未満）を達成したが、女性は 112.9 と依然として 100 を超えており、目標未達成のまま計画期間を終えました。

こころの健康支援や相談体制の充実を第3期でも継続して取り組む必要があります。

■ 女性の睡眠改善の停滞

睡眠で疲れがとれている人の割合は、男性が 59.4% と改善傾向にある一方、女性は 46.2% と現状値（H28）の 49.1% を下回っており、特に女性に対する睡眠・休養に関する支援が課題として残りました。

3. 次世代の健康

■ 子育て環境への継続的支援

「この地域で子育てをしたい」と思う親の割合は、3・4か月児・1歳6か月児で 100% であったが、3歳児では 94.4% と目標の 100% には届きませんでした。子育て世代が安心して地域で子育てできる環境づくりを継続することが求められます。

■ 中学生の朝食・生活リズムの課題

毎日朝食を食べる中学生の割合は 76.0% と、現状値（H28）の 82.3% ・中間評価（R1）の 89.4% から大幅に低下しており、第3期での重点的な対策が必要となります。一方、同じ時刻に寝起きする子どもの割合は小中学生ともに大きく改善しており、引き続き生活リズムの定着を支援することが重要です。

4. 生活習慣の改善

■ 食生活改善意識の低下

評価指標はいずれも現状値（H28）から大幅に低下しており、食生活改善に向けた意識啓発と実践支援が第3期の重要課題となります。また、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事がほぼ毎日の人の割合も、中間評価値（R1）の 66.9% から 57.5% へ低下しており、食事のバランス改善も引き続き取り組むべき課題です。

■ 運動習慣の定着

運動習慣のある人*の割合は 43.8% と現状値（H28）の 47.1% を下回っており、目標「割合が高くなる」を達成できませんでした。運動不足と感じる人の割合は 73.7% と改

善傾向にあるものの依然として高く、運動習慣の定着に向けた環境整備や普及啓発が引き続き必要です。

*定期的に運動（ウォーキングや体操・スポーツ・筋力トレーニング等）をしている人

5. 高齢者の健康

■ 高齢者の要介護認定率の増加

65歳以上の要介護認定率は23.6%と、現状値（H28）の19.2%から上昇しており、目標「割合が減る」を達成できませんでした。今後の人口推計として、高齢化率の大幅な増加はないものの、後期高齢者の割合が多い状態で推移することを踏まえ、介護予防・フレイル対策をより一層強化することが第3期の重要課題となります。

第3期健康増進計画における重点課題

第2期計画の最終評価を踏まえ、第3期計画において特に重点的に取り組むべき課題

優先度	課 題
高	肺・大腸・乳・子宮がん検診受診率の向上
高	心疾患 SMR の改善（重症化予防）
高	糖尿病性腎症・腎不全対策（重症化予防）
高	食生活改善意識の回復（糖質・脂質・間食）
高	自殺予防・こころの健康支援
高	高齢者の介護予防・フレイル対策
中	特定健診受診率の向上
中	女性の睡眠・休養改善
中	朝食習慣の維持・改善
中	運動習慣の定着